

平成29年10月1日

妊娠中の子宮頸がん検診で異常を指摘された患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成26年12月22日制定 平成29年2月28日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

妊娠中に診断された子宮頸部高度扁平上皮内病変（HSIL）の検討

2. 研究期間 平成29年10月 ～ 平成30年9月

3. 研究機関 産業医科大学病院

4. 実施責任者

産業保健学部 広域・発達看護学 教授 松浦 祐介

5. 研究の目的と意義

妊娠中に診断された子宮頸部高度扁平上皮内病変（HSIL）の転帰について検証し、今後の臨床的取扱い方法を確立します。

6. 研究の方法

診療録を中心に見直して検討します。非妊娠時に診断された子宮頸部高度扁平上皮内病変と診断・転帰について比較検討します。

7. 個人情報の取り扱い

被験者を特定できる個人情報は一切公表しません。情報は産業保健学部 広域・発達看護学講座の鍵のかかる保管庫に保管します。この研究によって得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用しません。個人情報は研究終了時に研究実施責任者の管理のもと匿名化を確認し5年間の保管の後に廃棄します。また、利用の拒否の申し出が可能であり、申し出ても不利益は被りません。

8. 問い合わせ先

北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

産業医科大学 産業保健学部 広域・発達看護学 松浦 祐介

(内線 7094) (外線 093-691-7477)

9. その他

本研究における経済的負担や謝礼はありません。